

3年に及ぶ新型コロナウイルス禍から脱却すべく、規制の緩和や撤廃に向けた出口戦略が段階的に講じられる一方で、新たな問題として物価高が個人や社会の経済活動に暗い影を落としている。参加型の競技・スポーツはビリヤードに限らず、生活様式の変化に対応してハードとソフトの両面で質を向上させるなどの工夫が必要とされ、変化を追い風として利することが難しくても逆風を凌ぐ対処をしなければ、一般層向けに訴えかける魅力が色褪せるばかりであると危惧されている。将来に向けた発展を遂げる為には、新陳代謝によるアイデアを組織全体に落とし込んでいける体制の構築を自らに課し、次の世代への交代に備えていかなければならない。

一方、協会組織としての活動の経済的基盤が大会事業の参加者と賛同者に大きく依存している現時点、重点を置くべき短期的な課題は、傘下団体による独自事業に至るまでの公式戦の活性化であるが、競技・スポーツに求められるインテグリティ（高潔性）を失うことなく、競技スポーツとしての認識や評価を得てその地位が確立される方向に沿って、この活性化が実現されなければならない。

ビリヤードの活況については、全体的な低調に加えて大きな地域差が生じており、全国大会や国際大会など、組織全体としての事業運営に関わる上で、地域別団体の負担の公平性確保が困難となっている。同時に、種目別団体から協会組織の事業に寄与し得る余力が期待することも難しい状況にある。このような状況にあって、組織全体が協調する上での機能分担と、組織の中央に位置する本部の役割・事業・経営に関して、従来要素の見直しと改善の指摘を受けており、本部がこの課題に取り組むにあたっては、未来の組織全体がより良い形で機能することを念頭に置いた継続的なご教示を社団社員たる正会員の皆様から賜りたい。組織を構成する地域別加盟団体とその傘下にある店舗会員などによる協力を要請させて頂き、種目別加盟団体からも理解と可能な限りの調整努力を賜りたい。併せて、賛助団体から賛同者や愛好者に至るまでにも、著しい世相変遷が予測される情勢下に於いて、全国組織の維持と発展に繋がる支援を賜れるよう冒頭に要請させて頂くものである。

1 組織改善に向けた段階的な取り組み

普及活動拡充・競技体制整備・組織基盤最適化の3大項目の中長期計画策定に向けて、外部有識者や一般会員から収集した提言や知見を参考材料として、期限内にプロジェクトチームによる仮策定までを終え、最終的な確定の行程に移行する。

本部が遵守すべきスポーツ庁策定に拠る中央競技団体向けスポーツ団体ガバナンスコードに基づき、

- ・組織中枢としての健全性と適合性が確保され得る運営体制の構築(整備と改革)
- ・組織全体として求められる機能が効率的かつ適正に実現される制度の構築(基盤と連携の見直し)

に向けて、遵守すべき必須項目について段階的な取り組みを行い、計画と履行状況を公開する。

スポーツ組織を形成する傘下団体に求められる原則と規範を示した一般スポーツ団体向けスポーツ団体ガバナンスコードへの段階的対応を促し、組織全体のグループガバナンス確立を目指す。また、組織全体として求められる基本的な事業の機能と役割が効率的かつ適切に分担し遂行され得る体制の構築に向け、基盤となる収支構造を含めた再整理と最適化に取り組む。

2 普及について

地域密着型の普及活動については地域別加盟団体の主導による積極的な活動を要請し、普及事業振興協力金によるサポートを継続する。普及に関する中長期計画が設定されるまでの間、本部として着手し得る普及活動は、これに賛同する団体等からの支援や協力を得て、関連の委員会や部会が担当して積極的に展開する方針である。

生涯スポーツとしての普及活動

- ・高齢化社会に見込まれる需要に対応し得る体制を整備する一環として、加盟団体による人的協力と賛助団体による支援の下、自治体や公共の高齢者施設等からの要請への都度対応を継続。

ジュニア世代への普及活動

- ・体育の日の体験型中央競技団体記念行事「スポーツ祭り」の再開に備えた体制整備。
- ・公共児童施設からの依頼・要請に対応した普及の場の提供。用品類の貸与・贈呈・保守の継続。

障がい者スポーツとしての普及活動（パラビリヤード）

- ・イベントの試行的開催・自主的な地域活動への協力などで臨機応変に対応。持続可能な経営基盤の確保を前提にした適切な形態を模索し確立を目指す。

全日本学校対抗選手権大会・日本学生選手権大会

- ・競技種目としての認知度を高めて普及を促す目的で継続。運営主体の一新を契機として、事業内容の再点検を実施し改善を図る。地域別加盟団体による協力支援の継続を要請したい。

3 強化について

加盟国際統括組織による主要国際大会への代表選手派遣

JOC 委託選手強化 NF 事業として JSC 競技力向上事業助成の下、以下の大会への選手派遣を予定。アジアインドア&マーシャルアーツゲームズについては、選手 9 名と帯同スタッフ 2 名の選手団を派遣する予定で、本部負担経費に対しては協力金から積み立てた特定費用準備資金が充当される。

- ・アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ・タイ・11/17～26
- ・WCBS チャンピオンシップ・トルコ・7/20～23
- ・スリークッション世界選手権・トルコ・9/6～10
- ・女子スリークッション世界選手権・トルコ・9/12～14
- ・ジュニアスリークッション世界選手権・トルコ・9/15～17
- ・アーティスティック世界選手権・トルコ・9/20～23 ※助成内容点検中
- ・女子 10 ボール世界選手権・オーストリア・10/18～21
- ・ジュニア 9 ボールアジア選手権・未定・未定
- ・スヌーカー世界選手権・未定・未定
- ・ジュニア 9 ボール世界選手権・未定・未定
- ・女子 9 ボール世界選手権・未定・未定
- ・10 ボール世界選手権・未定・未定
- ・9 ボール世界選手権・未定・未定
- ・スヌーカーアジア選手権・未定・未定
- ・スリークッション世界選手権国別対抗戦・未定・未定
- ・ジュニアスリークッションアジア選手権・未定・未定

JOC ジュニアオリンピック大会

ジュニア対象の国際レベル育成強化。全日本ジュニア 9 ボール選手権大会を 4/30 に開催予定。

強化関連事業支援の適正確保

組織機能の再検討に伴い、報奨金体系や本部負担が派生する選手強化 NF 事業の再整備・最適化を進める方針。必要に応じて専門機関の設置を検討。強化事業は中央競技団体の存在意義を問われる重要部門であるが、普及事業とのバランスが配慮されねばならない。3 種目間での調整や収支全体による制約も考慮に入れた施策決定が必要となる。

2026 アジア競技大会に向けた活動

地域別加盟団体の中部支部と連携し、2026 年名古屋開催アジア競技大会への参画可能性に向けて活動を行う。専門チームを設置し、行政や関連する国内外上位団体との調整や対応にあたる。

4 国内大会事業

大会主催

- ・全日本スリークッション選手権大会・東京・4/8～11
- ・全日本女子スリークッション選手権大会・東京・4/14～16
- ・全日本ジュニアナインボール選手権大会・東京・4/30
- ・全日本アマチュア四ツ球選手権大会・東京・5/27～28
- ・全日本スヌーカー選手権大会・東京(他)・6/3～4
- ・全日本アマチュアナインボール選手権大会・兵庫・6/24～25
- ・全日本バンド選手権大会・東京・7/1～2
- ・全日本カードル47/2選手権大会・愛知・9/9～10
- ・全国アマチュアビリヤード都道府県選手権大会(国体記念大会)・佐賀(他)・10/7～8
- ・全日本アマチュアカードル42/2選手権大会・広島・10/28～29
- ・全日本アマチュアスリークッション選手権大会・大阪・11/4～5
- ・日本学生ナインボール選手権大会・兵庫・11/19
- ・全日本アマチュアバンド選手権大会・東京・12/2～3
- ・全日本レディース四ツ球選手権大会・東京・11/18～19
- ・京都オープン・京都・未定/2023
- ・全日本学校対抗ナインボール選手権大会・東京・未定/2023

大会共催

- ・全日本選手権大会(ポケット)・兵庫・11/20～26
- ・全日本アマチュアポケットビリヤード選手権大会・愛知・11/4～5

大会公認

従来通り、HP上で公開されている大会の公認を予定。

5 広報事業

広報媒体の整備

刷新済の公式ホームページ内容の点検整備と拡充。協会組織案内冊子の改訂に着手の予定。

寄付及び協賛について

スポーツ組織は助成に依存しない体質を構築すべく財政基盤の強化を求められており、組織を維持する上での重要度が増している。この指針に基づきHP内に設置した寄付及び協賛の窓口を有効に活用すべく、賛同が得られる事業内容整備と組織機能改善に基づいた広報を予定する。

6 各種委員会などによる活動

各種委員会による業務や活動については継続して再編と整備にあたる。

アンチ・ドーピング委員会

アンチ・ドーピング規則の遵守と体制の確保は、スポーツに関わる関係者と選手の義務と定められているが、競技ビリヤードについては、組織的な啓蒙活動による周知と認識が不十分であると評価されている。改善には本部と傘下団体の協調体制が必要不可欠であり、担当構成員再編から積極的な活動体制の整備に至るまで、理事会が主導して調整にあたる方針。

協力金実行委員会

現時点の管理運用体制を継続。より適正かつ効果的な資金運用を実現すべく、運用システムの改善や必要な規定規約類の整備については理事会が主導して調整にあたる方針。

公認レフリー・コーチ制度委員会

APBU 国際レフリーライセンスの取得プログラムにおけるライセンス既得者に不利益が生じないよう考慮しつつ、国内公式ライセンス制度の構築に向けた活動を、状況に即した施策を中長期的な時間軸で適宜適時に講じる。

普及推進委員会

普及活動全般を俯瞰的な視点から戦略的に企画し統括にあたる機能を前提とした体制の整備中。

キッズビリヤード部会

本部主催事業としてキッズ世代への普及活動の実践にあたる。現時点でのローカルな普及活動から全国的な展開に発展させるべく、手法と体制の確立を目指す。

国体関連対策部会

理事会が主導した事業方針に基づいて、理事会と連携して国体関連事業全般の推進と遂行の管理を担当し、地方組織との間で必要な調整と支援にあたる。実行可能な都道府県に於ける国体記念大会と全都道府県での開催を継続する国体デモスポ競技大会について、都道府県組織設立を含めた進捗の管理にあたる。

ジュニアプール部会

ジュニア世代のプール部門に於ける理念と育成から強化までの事業全般を担当すべく整備中。

一般普及活動部会・パラビリヤード部会

機能整理と体制整備に向けて調整中。

広報委員会

広報に関わるコンテンツ整備を中心とした活動を予定。

ルール委員会

原則として、変更の必要に応じて対応。

倫理委員会・コンプライアンス委員会

原則として理事会内に設置。インシデント発生時に対応する他、啓発活動を計画する。

助成金審査委員会・選手選考委員会

所轄すべき機能の整理と体制の整備を進めつつ、当面の必要な機能は理事会が主導して代行する。選手選考の過程については正当性と透明性の確保がガバナンスコード遵守事項として求められており、年度内での公開を目標とする。

役員選考委員会

中央競技団体ガバナンスコードの定める原則と審査基準に基づき年度内を期限に整備を終え、役員改選時に於ける稼働を目指す。